

事業所名		みんなのおうち玉山				支援プログラム（参考様式）		作成日	2025 年	3 月	3 日		
法人（事業所）理念		・子どもたちがみんなのおうち玉山で過ごす時間を楽しいと感じるような居心地の良い空間を提供します ・スタッフ自身が子どもたちと関わることを心底楽しみ、様々な活動を通して一人ひとりの「らしさ」を育むお手伝いをします ・子どもたちの小さな成長を見逃さず、社会参加していく支援を行います ・子どもたち、ご家族が社会の中で感じる不安や居心地の悪さなどに寄り添い、丁寧に取り除いていくお手伝いをします											
支援方針		・安全に配慮し、家庭と近い環境で子どもたちがのびのびと過ごせるような空間を提供します ・子どもたち自身の自己選択・自己決定を大切にします ・子どもたちの成長を見逃さず、他者との関わりや社会生活の中で必要となる力の習得を丁寧に見守り支援します ・子ども、家族、地域の思いに真摯に向き合います											
営業時間		9 時		00 分から		18 時		00 分まで		送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	【日常生活に必要な動作の経験を増やし、スキルの向上を図るとともに、利用児童個々の健康状態や生活リズムの保持・改善に努める】 ・日常生活動作の獲得、向上（活動支援・支援プログラムの一例：食事・調理・お弁当洗浄、手洗いうがい・歯磨き・洗顔、着替え・身だしなみ、掃除・整理整頓、トイレトレーニング等） ・調理体験や小農活動、ごっこ遊びや読み聞かせなど、食育についての学習の機会を取り入れ、食育活動への参加の機会を図るとともに、健康的な食生活の保持に努める ※昼食調理例（カレー、豚汁、やきそば・たこ焼き、ライスビザ等）おやつ・軽食調理例（クレープ、アイスパフェ、ケーキ、クラッカーサンド、カップスープ等） ・定期的な健康状態の把握（活動支援・支援プログラムの一例：身体測定、体力測定、健康チェック等）											
	運動・感覚	【微細運動を取り入れ、遊びや運動を通じて心身のバランスを整えとともに、適宜マッサージ等も取り入れ、健康保持や感覚の発達を促す】 ・屋内活動（活動支援・支援プログラムの一例：指先訓練、ビジョントレーニング、トランポリン、ダンス、リトミック、アスレチック、スパイダーネット、フラフープ遊び、風船バレー、筋力強化・維持のための体力測定、ラジオ体操、ハンカチ落とし、だるまさんがころんだ、しっぽ取りゲーム等） ・屋外活動（活動支援・支援プログラムの一例：庭や公園・体育館での遊具遊び・運動、日常的な散歩・散策、庭や畑での小農活動、冬季期間における庭での雪だるま制作・そり遊び等） ・心身の静養や健康保持、感覚の発達を促す活動（活動支援・支援プログラムの一例：屋内でのマッサージやタッチケア、屋外での日光浴等）											
	認知・行動	【利用児童個々の認知特性や行動特性に応じて環境調整や対応を図るとともに、様々な遊びや活動を通じて認知や知覚の発達、自己効用感の向上を促す】 ・利用児童個々の認知特性をふまえ、伝達・対応方法の工夫を図りながら、自発的活動の促し、行動の切り替え、活動を通じた認知や知覚の発達を促す ・季節や暦に応じた活動、利用児童個々の意向に準じた多種多様な制作活動、屋内外での感覚遊び等を通じて、認知や知覚の発達を促すとともに、自己効用感の向上を促す ※季節や暦に応じた活動の一例：初詣、みずき団子制作、節分、ひな祭り、こいのぼり制作、七夕飾り、月見団子作り、ハロウィン制作、クリスマス制作、年賀状制作等 ※活動支援・支援プログラムの一例：毎月のカレンダー制作、雑貨・装飾品・おもちゃ作りなど多種多様な制作活動、絵画等の表現活動、感覚ゲーム・粘土遊び・自然探索等の感覚遊び											
	言語 コミュニケーション	【支援に際して適切なコミュニケーションを図りながら、利用児童個々の発達特性や意向に応じて適宜介入を行い、言語機能の発達や意思形成・意思表出の発達を促す】 ・日々の遊びや活動の中での言語や計数の学習、ならびに他者との交流やコミュニケーションを、利用児童個々が楽しく安心して経験できるよう、環境調整や必要に応じた介入を行う ・利用児童個々の意向を傾聴し受け止め、適宜感情を言葉にできるよう促すとともに、必要に応じて児童間のコミュニケーションへの介入を行い、意思形成・意思表出の発達を促す ・利用児童個々へのコミュニケーション上の工夫や支援に際しての適切な伝達方法、ならびに予定表やチェックシートの活用等を通じて、日々丁寧に見守り、情報理解等の向上を図る ※活動支援・支援プログラムの一例：日々の遊びや活動の中での支援、共同制作（クリスマスツリー等）、長期休みにやりたいこと会、朝の会、誕生日会、こんなときどうする？クイズ等											
	人間関係 社会性	【利用児童個々が安心できる環境下で、他者との交流や協同の機会を設け、社会的な行動・振る舞いの学習や、状況に応じた対応、自己理解・他者理解の発達を促す】 ・利用児童個々が安心できる環境下で、言葉や行動の意味と一緒に考えたり、適宜支援内容にSSTを取り入れ、社会性の獲得や自己理解・他者理解の発達を促す ※活動支援・支援プログラムの一例：チクチク言葉・ふわふわ言葉を考えよう、大きい声・小さい声を考えよう、プライベートゾーンを学ぼう、マナーを学ぼう、電車・バスに乗ってみよう、お金について学ぼう、買い物体験、遠足・社会見学、その他外出・外食体験、事業所が共催することも食堂等でのボランティア体験・遊びを通じた交流（希望者のみ）等 ・困った時や緊急時の際の周囲の人へのヘルプサインの伝え方や対応方法について学び、不審者対応や避難訓練等の訓練形式でも学習できる機会を設ける（避難訓練等）											
家族支援		利用に際しては学校休業期間中の早朝預かりに対応している他、保護者や家族等の意向に応じて定期的なモニタリング以外の相談援助の機会を設け、支援の方向性を確認しながら、対応方法等の助言を図っている。また、事業所で定例開催している家族参加型のイベント（「親子夕涼み会」等）や、保護者会・参観等の機会（実施予定）を通じて細やかな支援内容の共有や多様な交流の機会の提供に努めており、その他、利用児童個々の状況に応じて進路等に関する相談援助等を実施している。						移行支援		利用児童個々の進路に関する相談援助や情報提供を適宜行っている他、日常生活の支援や学習の見守りに際して、利用児童個々の意欲を引き出す声がけを図る等、将来的な移行を見据えた本人支援を行っている。また、個々の希望に応じ事業所が共催しているこども食堂等の機会への参加を支援しながら経験の拡充を図り、加えて、進学に伴う電車やバス、徒歩通学に関する相談援助等の移行支援も行っている。			

地域支援・地域連携	各種関係機関との連携会議を適宜開催し、情報共有や役割分担等に関して定期的な協議を行っている。また、利用児童個々の希望に応じて、事業所が共催することも食堂等への参加を支援し、地域での多様な交流の機会の提供やボランティア体験の情報提供、関連する地域活動支援・地域連携支援等の拡充を図っている。	職員の質の向上	令和6年度研修実績：放課後当デイサービスガイドライン研修、支援の5つのポイント、発達障害について、アンガーマネジメント研修、感覚統合について、強度行動障害基礎研修・障がい者虐待防止研修等県主催研修の落とし込み研修、他事業所視察研修、障害と性に関する外部研修等 / 感染症予防対策研修・訓練、災害対策研修・訓練（BCP研修・訓練含む）、虐待防止・身体拘束等適正化研修・訓練、緊急時対応研修・訓練、安全対策研修・訓練、てんかん対応研修・訓練等
主な行事等	遠足・外出体験 ※岩手県立博物館、いわて子どもの森、久慈地下水族科学館「もぐらんびあ」等 / 学校休業期間中のクラブ活動の実施 ※2024年度：外遊び（雪遊び）部、図工部、手芸部 家族参加型行事 ※「親子夕涼み会」（利用児童・保護者・家族親族等を招待した夏祭り）等 / その他利用児童・家族の皆様がご参加いただける行事等 ※「みんなの食堂・あそびの広場」（「手をつなぐ会たまやま」主催の地域食堂・こども食堂）、「玉山夏祭り」への出店（希望者のみ出店ボランティア等に参加） / その他事業所関連行事 ※合同運動会・他施設交流等		